

自治会長さんにインタビュー（比婆山自治会長 田原 宗人さん）

今回は、比婆山自治会長さんにインタビューさせていただきました。

1. 特色ある活動

快適な環境づくりや健康づくりの大切さを今一度認識し、会員の皆さんが自治会活動に参加し、安心して暮らせる地域づくりを基本方針の基に活動しています。

活動については、他の自治会と同じような内容ですが、次のような活動をしています。

- ・ 会員対象の研修会（予算が許せば現地視察等）
- ・ わくわく広場（サロン）の支援
- ・ 災害時に自治会自主防災計画により支援、また、見守り活動
- ・ 地域の環境整備活動
- ・ その他、グランドゴルフ大会、敬老会、懇親会等



2. 地域の困りごと、課題

- ・ 地域の高齢化で役員の若返りが困難になりつつ、長年役員を続けているので活動も鈍くなりつつある。
- ・ 高齢化によりイベントのマンネリ化及び参加者の減少

3. 地域の自慢、自慢の方々

- ・ 今西常会の女性会員で長年比婆山駅周辺を季節ごとに花などを植え、清掃と美化、環境整備に活動されています。
- ・ 各常会も年2回美化・環境整備に活動されています。

4. 今からやりたいこと

当自治会も後期高齢者が約半数近くになるかという状況にあり、自治会自主防災計画、見守り支援体制の見直しを考える時期にきていると思われるので、今後役員会で協議をしていくつもりです。

今年度はコロナ禍で大半の事業や活動ができませんでした。今年5月中旬頃から65歳以上の方からワクチン接種を行う予定がされていると聞いております。コロナが終息に向かえば、高齢化、少子化問題を考え三世代が活動できる事業の計画を検討していきたいと考えています。

明神町雛祭り開催 3/24(水)～3/28(日)

今年で7回目、コロナ禍の中でも皆さんに元気をと。そして、春の日差しを感じて外に出るきっかけとなればと今年も明神町雛祭りが開催されます。

見どころは？

マンパワー

- ・ 約400体にも及ぶ人形の飾りつけ(4軒の座敷に)

アイデア満載

- ・ 明寿会の1年間の取り組みを雛壇に細かく再現

風情

- ・ 流れる音楽と、雛壇の周りの服飾品の数々
- ・ 昔ながらの街並み

今年は残念ながら、「ほとぎとコーヒー」でのおもてなしはないそうですが、見ごたえのあるお雛様をご覧になってはいかがでしょうか。



昨年の雛飾り

今後の行事予定

- | | | | |
|----------------------|--------|-----------------|--------|
| ○3月22日(月)19:00～ | 環境福祉部会 | ○4月9日(金)13:30～ | パソコン教室 |
| ○3月23日(火)19:00～ | 地域振興部会 | ○4月23日(金)13:30～ | パソコン教室 |
| ○3月26日(金)19:00～ | 生涯学習部会 | | |
| ○3月27日(土)19:00～20:30 | | | |

庄原市長選挙立候補予定者公開討論会(サテライト会場:西城自治振興センター)

西城自治振興区だより

西城まちづくり便

2021.3.19
Vol.105

題字：向原 悠さん
美古登小学校 6年生

〒729-5722 広島県庄原市西城町大佐734 TEL/FAX:0824-82-2175

Mail:saijyo.jichi@gmail.com facebook:西城自治振興区

庄原市自治振興区連合会から要望書の提出

庄原市自治振興区連合会(庄原市内22自治振興区で構成、以下「連合会」)では、「自らの地域は自らが守る」を基本理念として、諸課題の解決に向けた取り組みから、行政と一体となって「参画と協働によるまちづくり」を推進していくため、要望を連合会でとりまとめて市へ提出(令和3年1月27日付)されていますのでお知らせいたします。また、回答等につきましては、届き次第お知らせいたします。

【要望書の抜粋】

【要望事項】

1. 人口減少の取り組みについて

人口減少は地域の活力はもとより地域産業全体を衰退させ、集落の維持さえも困難になるなど、負の連鎖につながっている状況にある。

こうした状況を踏まえ、若者定住のための住宅整備や今後も増加が予想される空き家に対する支援制度の充実に加え、転入者(Uターン)の促進につながる仕組みを構築するため、これまで以上に積極的な取り組みをお願いしたい。

2. 小中学校の適正規模・適正配置について

各自治振興区では、小中学校の児童生徒を中心に農業体験や郷土の歴史・文化に触れる地域行事の開催など、交流の促進を図ることで「ふるさと」への愛着と誇りを育み、将来、地域の担い手として活躍できる人材の育成に取り組んでいる。

こうした状況を踏まえ、学校適正規模・適正配置基本計画については、地域から学校が無くなるだけでなく、市が取り組む若者定住(Uターン)にも大きな影響を及ぼすことが予想されるため、今後とも保護者や地域住民の思いを十分に受け止めた上で、対応いただきたい。

3. 未利用となる公共施設の有効活用について

今後、未利用となる公共施設について、有効活用していくことが地域活性化に向け重要であると考えている。

未利用となる公共施設については、自治振興区など地域との協議を踏まえ、早期に方向性を示していただきたい。

4. 農林業の振興について

本市の基幹産業である農林業は、高齢化や後継者不足、所得の減少等により厳しい状況が続いており、森林や農地は遊休化・荒廃が進み鳥獣被害も増加するなど、生産意欲の減退につながっている状況にある。

こうした現状を踏まえ、新規就農者等への支援制度の充実に加え、所得の向上につながる新たな特産品開発や販売促進など、県立広島大学、県立農業技術大学校などの関係機関との連携をより一層図るなど、引き続き、取り組みの強化を図っていただきたい。

5. 高齢者等(交通弱者)に対する地域生活交通の確保及び支援について

最寄りの駅やバス停までの移動が困難な高齢者が増加傾向にあることから、自治振興区においても地域生活交通の確保に向けた取り組みを進めている。

今後も、民間事業者との調整や地域間の連携、法規制への対応など、行政による指導・助言が必要であり、引き続き支援をお願いしたい。

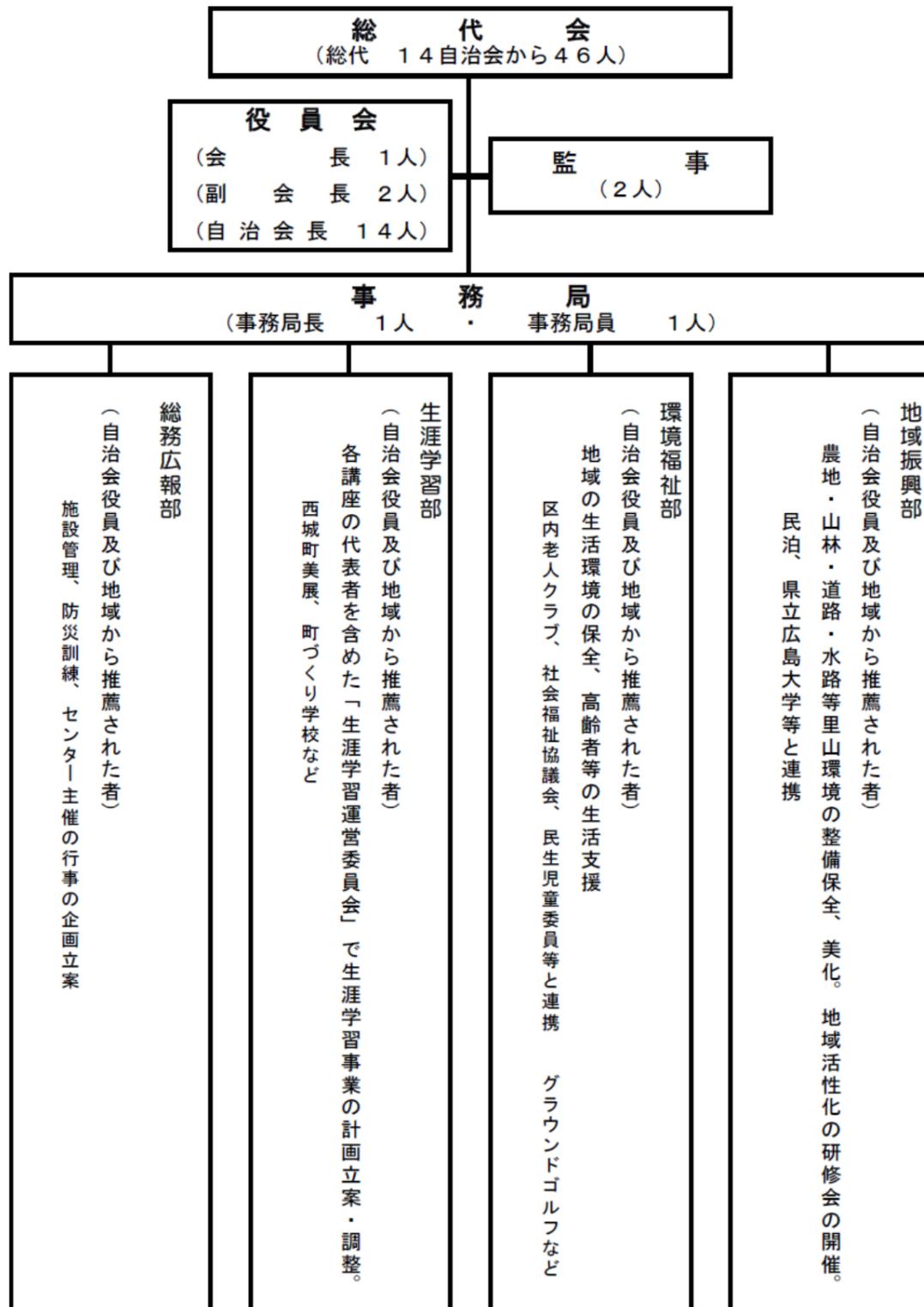
西城自治振興区 部制の骨子について

令和元年度の総代会において、地域振興計画改定に伴うプロジェクトから部制(総務広報部・生涯学習部・環境福祉部・地域振興部 4部)への移行が承認され、役員会で協議を重ねて参りました結果、環境福祉部、地域振興部へ自治会よりそれぞれ1名ずつ部員を選出いただき、総務広報部には自治会長、生涯学習部には各講座の代表に出席をいただき部会を開催する運びとなりました。

今後は、長期計画、事業計画などを検討及び協議をしながら策定していくこととなります。最初の部会につきましては、環境福祉部[3月22日(月)]・地域振興部[3月23日(火)]・生涯学習部[3月26日(金)]としております。各部員の皆さんへご案内させていただきます。

各部署目標へ向けて連携をとり協力しながら取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。

西城自治振興区組織図



町の元気！ イチオシ

西城バレーボール
スポーツ少年団
指導者の高井美和子さん
にお話を伺いました。

町内の、頑張ってキラキラ輝いておられる人や、めずらしい、面白いものに目を向け、町の皆さんに紹介しています。

高井先生は、長年にわたってバレーボールスポーツ少年団の指導者として活躍されてきました。地域住民にとって高井先生を知らない人はおられないかもしれません。

バレーボールと出会って55年、指導者として40年

中学校のクラブ活動として始め、高校へと継続し、地元就職後、地域のママさんバレー、一般男女クラブの練習に参加していました。体力がつくと共にたくさんの仲間ができました。

昭和55年から小学生対象の活動を始め、40年の間、子どもたちと関わってきました。練習を重ね、体力・精神的にたくましく成長していく子どもたちを見ながら、一緒に活動できることは大きな喜びです。バレーをしていたことが何らかの形で将来に、役にたったり力になってくれたらこんなに嬉しいことはありません。



子どもたちには、バレーボール部の「ゆめをみる・ゆめを追う」のモットーのもと、何事にもあきらめない・がんばる気持ちを追い求めて欲しいと願っています。

足跡

- 昭和55年度 体力づくりを基本に指導者4名、団員18名で西城バレーボールスポーツ少年団(小学4年以上)を結成する。
- 昭和57年度 谷本哲吾先生が指導者に就任。試合への参加も増し、結果も出るようになる。
- 昭和58年度 近隣市町村バレーボール交歓大会(西城町独自の大会)を開催する。
- 昭和59年度 比婆庄原地区少女バレーボール交流会を創設。西城・庄原・高野・東キャッツの4チームが加入する。
- 昭和61年度 初めて、広島県選抜兼県外優秀チーム招待大会に出場する。
- 昭和62年度 三次市長旗大会で4・5・6年優勝、初の三冠を達成する。広島県選抜大会に出場し、準優勝をする。
- 平成2年度 近隣のチームから中国山地に隣接する県外のチームを招待しての大会へと拡大し、現在も継続している。
- 平成2・6・24年度 広島県大会でベスト4に入り、中国ブロック大会に出場する。

これからについて？

これまで入団した子どもたち・後援会の皆様・指導者の皆様に感謝しています。入団は、小学生以上の男女と拡大して随時募集しています。一緒にバレーを楽しみませんか？小学生は少ないのですが、中学生や高校生も練習に参加しており、楽しく賑やかに練習をしています。



指導者や先輩
たちに指導を受け
ている小学生

※西城バレーボール部は、たくさんの指導者の熱い思いを受け留めながら、恵まれた環境のもとで大勢の子どもたちが育ってきたことを強く思いました。そして、今も卒業生たちが足を運んでいるのも多くの指導者や保護者、40年もの長きにわたりずっと子どもたちを見守り支え続けてこられた高井先生の優しく熱いまなざしがそうさせていると思わずにはいられません。